

Ver _____

高知県オフセット・クレジット(高知県J-VER)制度に基づく
温室効果ガス吸収プロジェクト計画書別紙
モニタリング計画書

プロジェクト名	
プロジェクト代表事業者名	

提出日 年 月 日
受理日 年 月 日
最終版提出日 年 月 日

I. 純吸収量で考慮する温室効果ガス排出・吸収活動(方法論項目3)

プロジェクト吸収量・排出量				
吸収源(炭素プール)	吸収活動の説明	プロジェクト吸収量	温室効果ガス	備考
地上部バイオマス	の実施により、追加的に地上部バイオマスが蓄積される。	(番地)に立地する 年生の林分		
地下部バイオマス	の実施により、追加的に地下部バイオマスが蓄積される。	(番地)に立地する 年生の林分		
排出源	排出活動の説明	プロジェクト排出量	温室効果ガス	備考
主伐による地上部バイオマス分の排出量	森林経営活動(主伐)の実施により、蓄積されていた地上部バイオマス中のCO2が排出される。	(番地)に立地する 年生の林分		
主伐による地下部バイオマス分の排出量	森林経営活動(主伐)の実施により、蓄積されていた地下部バイオマス中のCO2が排出される。	(番地)に立地する 年生の林分		
植林対象地の植生除去分の排出	植林活動による伐採・刈払いされる植林対象地(例:農地、草地)のバイオマス	(番地)に立地する (農地など)		

欄が足りない場合には追加して記入すること。

算定式 (方法論項目5)

4. 純吸収量の算定 下記5-1から6-1に基づき、プロジェクトによる純吸収量を算定し、値を記入する。
本欄に記載しきれない場合は、別途、吸収量算定を行った資料を添付すること。

--

- 5 - 1. 吸収量(地上部バイオマス)の算定 方法論を参照し、以下に吸収量の算定式及び値を記入する。

--

- 5 - 2. 吸収量(地下部バイオマス)の算定 方法論を参照し、以下に吸収量の算定式及び値を記入する。

--

6. ベースライン吸収量の算定 方法論を参照し、以下にプロジェクト排出量の算定式及び値を記入する。

--

7. プロジェクト排出量の算定 方法論を参照し、以下にプロジェクト排出量の算定式及び値を記入する。

--

欄が足りない場合は適宜欄を追加して記入すること。

モニタリング詳細 - 活動量 - (方法論項目5)

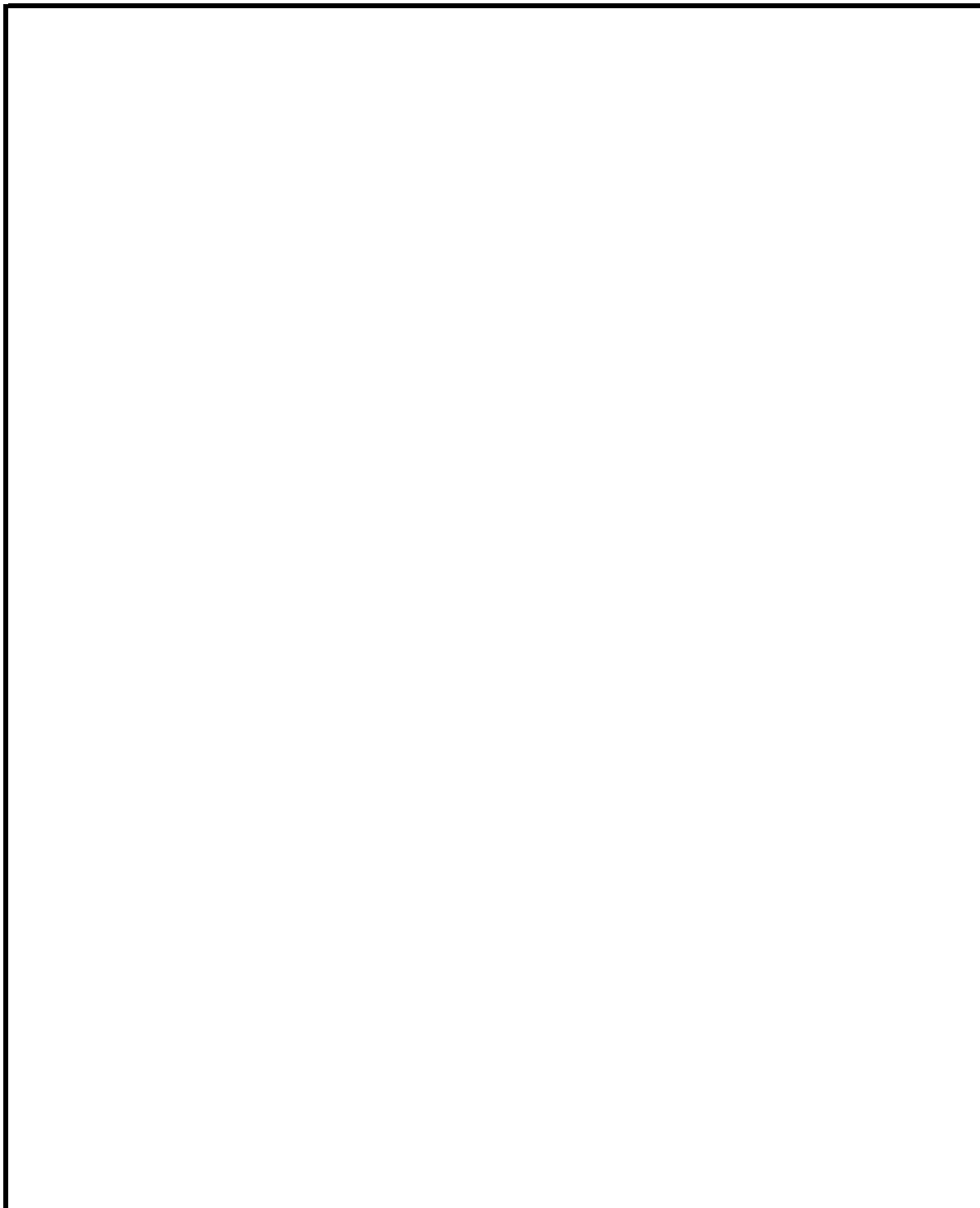
モニタリング ポイントNo.	小班名	パラメータ		測定方法 (モニタリングパターン)	測定方法の詳細	測定頻度	測定機器 の確認		計画値 [単位]	備考
モニタリング ポイントの番号 (間伐等の森林 施業を実施した サイトの通し番号) を記入	モニタリング ポイントの番号 に対応する 小班名を記入 (同一小班名は 識別可能な 方法で記述)	方法論に 記載されて いるパラメ ータを記入	モニタリン グ対象とな る活動量の 説明	測定方法・データ把握 方法を記入 (モニタリング方法ガイ ドラインにあるパターン から選択)	事業者自ら実測を行う場合、具 体的な測定方法を記入 (記入された測定方法により、 第三者が同じ調査を実施でき るよう詳細情報を記入のこと)	測定頻度 を記入	モニタリング 方法ガイドラ インを参照 し、測定機器 のキャリブ レーション・ 点検等を行 ったか、ま た、行うかを	キャリブレ ーション・点 検等実施・予 定日	想定吸収量 の算定に使 用した値を記 入	施業年(林齢) その他特筆すべき事項 があれば記入
例	小班XX	Area _{Forest}	間伐面積	森林GIS情報に基づく 方法	間伐が実施された小班ごとに、 電子コンパスを用いて…(追加 資料は 備考に添付)	年1回		2009/3/3	500m ²	2008年度(42) 2005年及び2010年に2 度間伐を実施

モニタリング詳細 - 各種係数 - (方法論項目5)

モニタリング ポイントNo	小班名	樹種	パラメータ	測定方法 (モニタリングパターン)	測定方法の詳細	測定頻度	測定機器 の確認		計画値 [単位]	備考

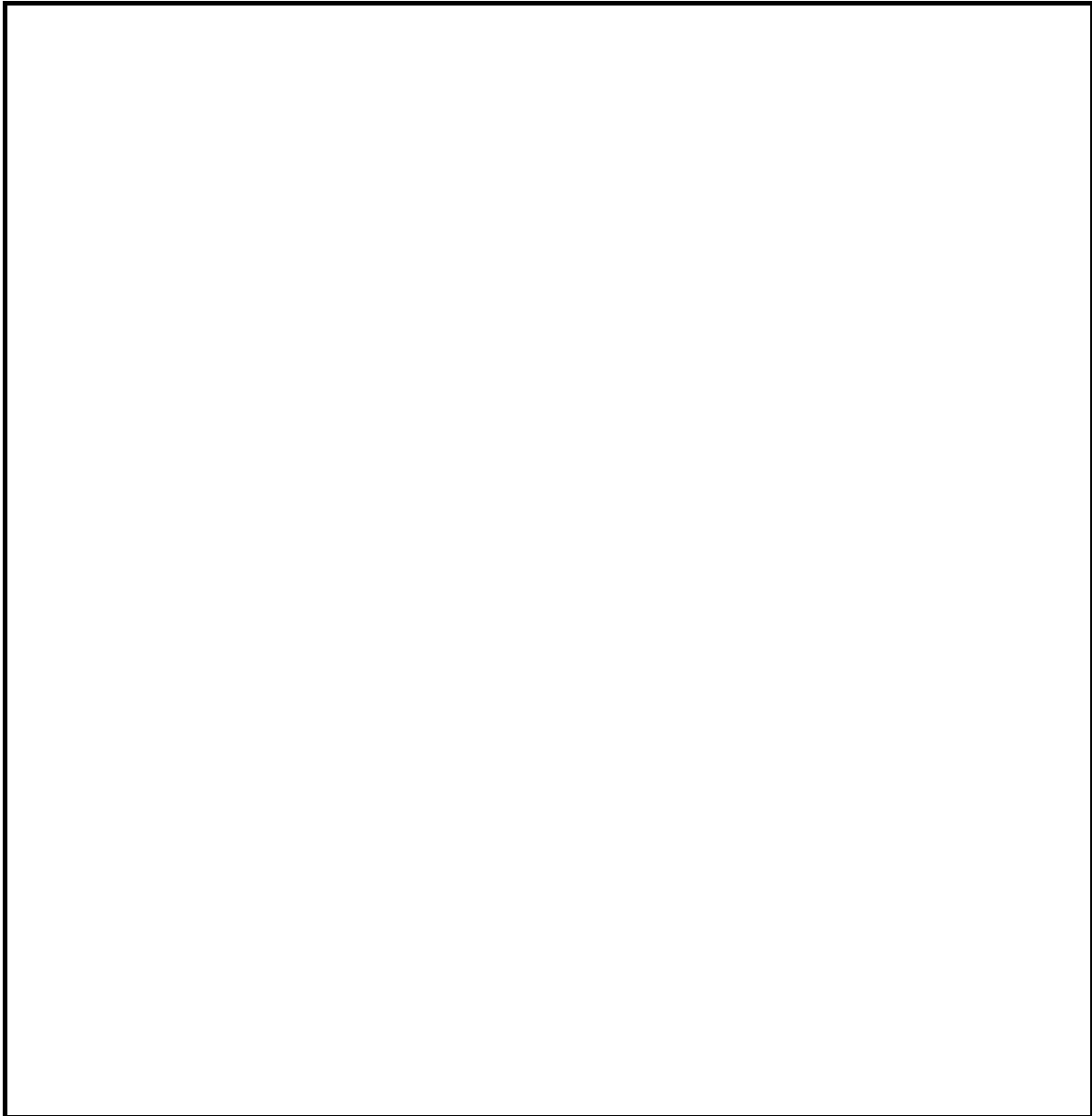
モニタリング体制図

モニタリング体制図を以下に記載すること。



品質保証(QA)及び品質管理(QC)

森林管理方法(定期的な林況チェック等)、施業効率の改善(教育・訓練)、機器の点検、及び成長量に関するデータ管理の仕組みや手順(QA及びQC)について以下に記載すること。(モニタリングガイドラインI-17~I-18参照)



独自の様式や手順書等を作成している場合には本様式に添付しても良い。

備考

モニタリング項目等の説明で、追加説明が必要な場合は、以下に詳細を記述する。
説明にあたっては、証拠書類等の該当箇所が明確になるよう、対応ページ・箇所の明示を行うこと。
なお、説明に使用した資料は、名称及び添付資料番号を明記し、巻末の添付資料一覧に整理すること。